

6月～7月の 作物保護に



ゴマダラカミキリ



チャノキイロアザミウマ

DUPONT®

The miracles of science™

あなたの秀品のみかん作りをお手伝いします。

- 速やかな摂食活動阻害による作物保護
- 幅広い殺虫スペクトラム



果樹・茶用殺虫剤

デュポン™

エクスレール®
SE

powered by
CYAZYPYR®

幅広い殺虫スペクトラム

ゴマダラカミキリ、ケシキスイ類にも適用拡大!
チャノキイロアザミウマをはじめアゲハ類などチョウ目害虫等の広範囲の害虫に卓効。

速やかな摂食活動阻害による作物保護

チャノキイロアザミウマに有効な新規系統剤であり、主に害虫の摂食により薬剤が虫体内に取り込まれ、速やかに摂食活動を停止させます。

●かんきつ/ゴマダラカミキリ成虫に対する基礎活性試験～食害面積率～

エクシレル®SEは無処理、対照A剤に比べ食害を抑制した。

供試薬剤	希釈倍率	供試虫数	平均食害面積率(%)	
			散布1日後	散布3日後
エクシレル®SE	5000倍	13	0	0.8
対照A剤	4000倍	13	1.9	18.1
無処理	—	13	6.9	23.5

平成27年 日産化学工業(株)社内試験

【試験概要】

区制:1区1頭13反復

処理日:6月18日

試験法:枝15cm+葉1枚に散布処理
風乾後、ケージ内に入れ放虫

処理法:マスコットスプレー

処理量:十分量

調査日:6月19日(1日後)

6月21日(3日後)

備考:食害面積率を連観評価

■適用害虫と使用方法(抜粋)

2017年5月現在

作物名	適用害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	シアントラニプロールを含む農薬の総使用回数
かんきつ	チャノキイロアザミウマ アゲハ類 ミカンハモグリガ ミカンキジラミ ケムシ類 ハマキムシ類 ヨモギエダシャク ケシキスイ類 ゴマダラカミキリ成虫	5000倍	200~ 700ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布	3回以内

その他の適用作物:かんきつ(苗木)、なし、ぶどう、もも、ネクタリン、すもも、あんず、おうとう、りんご、茶

▲効果・薬害等の注意

- 使用前によく振ってから使用してください。
- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきってください。
- 散布液調製後はできるだけ速やかに散布してください。
- アルカリ性の農薬や肥料との混用は、有効成分が分解するおそれがあるので避けてください。これらの薬剤と混用する場合には、メーカーや販売店等に問い合わせるなどして、分解の有無を十分確認してから使用してください。
- やむを得ず、他の薬剤と混用する場合には、事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。
- 使用液量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び使用方法に合わせて調節してください。
- ぶどうへは、果粉溶脱及び薬斑を生じるおそれがあるので、袋かけ以降に使用してください。また、無袋栽培(傘掛けを含む)には使用しないでください。
- 過度の連用を避け、可能な限り作用性の異なる薬剤やその他の防除手段を組み合わせ使用してください。
- 適用作物群に含まれる作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 蜜に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響を与えるおそれがあるので、散布の際はミツバチ及び巣箱にかからないようにしてください。また、散布直後から1日後まではミツバチを散布区域外に移動させるか、巣門を閉じてください。
- マメコバチに対して影響を与えるおそれがあるので、マメコバチの訪花期間中は散布しないでください。
- 使用残りの薬液が生じないように調整を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
- 直射日光を避け、なるべく低温な場所に密栓して保管してください。



グループ 28 殺虫剤

殺虫剤抵抗性管理(IRM)

一般推奨事項:薬剤抵抗性の急速な発達を防ぐために、同一作用機構を持つ製品を連続する複数の害虫世代間にわたって処理することは避けること。ブロック式ローテーション、即ち、デュポン®エクシレル®SEまたは他のグループ28殺虫剤の「ブロック」の後に、異なる作用機構を持つ有効な殺虫剤処理の「ブロック」が続く形でローテーションを使用すること。年間を通じて適応されるすべての「グループ28使用ブロック」の合計暴露期間は作付期間の50%を超えてはならない。栽培期間の短い作物は1栽培期間を1ブロックとする。IPM手法の一環として防除体系に組み込むこと。

害虫の抵抗性、作用機構及びモニタリングに関する追加情報の参照サイト
(1)Insecticide Resistance Action Committee(IRAC)ウェブサイト (<http://www.irac-online.org>)
(2)デュポン株式会社ウェブサイト「デュポン 抵抗性」で検索

▲安全使用上の注意

- 誤飲などのないよう注意してください。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の担当を受けてください。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすしてください。

- ラベルをよく読んでください。
- 記載以外には使用しないでください。
- 小児の手の届く所には置かないでください。
- 空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、環境に影響のないよう適切に処理してください。洗浄水はタンクに入れてください。
- 防除日誌を記帳しましょう。